

2023年度 入学試験解答用紙〔社会〕(35分)

第2回 2月2日実施 吉祥女子中学校

1
問2, 13
各1点×2
問1,
3~12,
14
各2点×12

問1	問2	問3	問4
ウ	ア	エ	イ
問5	【問6別解】「三代将軍家光の時には鎖国政策が完成したため限定されていたが、8代将軍吉宗の時には一部の洋書の輸入が許可されたため増加した。」		
エ			
問6			
3代将軍家光の時にはヨーロッパ船来航が禁止されたため			
限定されていたが、8代将軍吉宗の時にはキリスト教布教			
に關しない洋書の輸入を許可したため増加した。			
問7	問8	問9	
解体新書	イ	ウ	
問10	問11		
ベルツ	カ		
問12	問13	問14	
学徒出陣	ア	ウ	

【解答例】

26

2
問10, 11
各1点×2
問1~9,
12~14
各2点×12

問1		問2	
関門	海峡	那覇	
問3	問4	問5	
イ	球磨川	エ	
問6	問7	問8	問9
ア	イ	ア	オ

問10	問11	【問12別解】「輸送費が安い。」 「渋滞がなく時間に正確である。」
ア	イ	
問12		
大量に輸送することができる。		
環境への影響が少ない。		
問13	問14	【解答例】
ク	ウ	

26

3
問5, 8
各1点×2
問1~4,
6~7,
9~10
各2点×8

問1	問2	問3	
エ	ウ	モンテスキュー	
問4		問5	
クリミア	半島	エ	
問6		問7	問8
インフレーション		エ	ア
問9	問10		
イ	ウ		

18

受験番号	氏名	得点
	模範解答	70

〔記述式解答の採点について〕

第2回

1 問6

【模範解答例】

3代将軍家光の時にはヨーロッパ船来航が禁止されたため限定されていたが、8代将軍吉宗の時にはキリスト教布教に関しない洋書の輸入を許可したため増加した。(2点)

【採点のポイント】

3代将軍と8代将軍の政策を区別し、それぞれの時期の文化的要素と関連させられているか。

⇒この設問で要求されていることは、ヨーロッパの学問の導入が一時的に停滞した理由と、途中から復活した理由について、将軍の政策に絡めて説明することです。まず、17世紀と18世紀が江戸時代であることを確認します。江戸時代の3代将軍は徳川家光、8代将軍は徳川吉宗ですから、その2人の政策のうち、ヨーロッパとの関わる項目を書くことになります。

⇒徳川家光の時代は、鎖国政策がとられ、外国の情報はかなり制限されました。しかし、8代将軍徳川吉宗は、産業の発展のためにキリスト教に関係ない、漢文に訳された洋書の輸入を許し、青木昆陽などにオランダ語学習を命じます。これがきっかけとなり、蘭学が起きました。

【部分点を与えた解答例】

鎖国をしていたため限られた場所でしか西洋医学を学べなかったが、幕府が洋書の輸入を許可したから。(1点)

⇒この例では、「鎖国をしていたこと」や「洋書の輸入を許可したこと」といったキーワードは書けていますが、それがどの時期のことなのか、どの将軍が行ったことなのか不明です。そのため1点減点としました。2つ以上の異なる時期のことを説明する時は、できごとがどの時期のことなのかを明確にするようにしてください。

【得点を与えなかった解答例】

- (1) キリスト教に関係のない洋書の輸入を許可したから。(0点)
- (2) 3代将軍義満の時に鎖国されたため限られていたが、8代将軍吉宗の時に、幕府が開国をしたため機会が増加した。(0点)

⇒(1) 時代や将軍の区別もなく、学問の導入の停滞か復活かを判断できないものは得点を与えませんでした。

(2) 室町時代の将軍と江戸時代の将軍が混在していたり、特定のできごとが起こったタイミングを整理できていない答案が散見されました。また、例には示していませんが、徳川綱吉と記すなど、江戸時代の将軍について正確に理解できていない答案もありました。単語のみを暗記するのではなく、時代・地域・できごとを関連させながら学習する習慣を身につけてください。

〔記述式解答の採点について〕

第2回

2 問12

【模範解答例】

大量に輸送することができる。／ 環境への影響が少ない。／ 輸送費が安い。／ 渋滞がなく時間に正確である。(以上のうち二つ、各1点)

【採点のポイント】

- ①「大量に輸送することができる」という点に言及しているか。(1点)
⇒鉄道輸送では、多くの貨車を連結することで、一度に大量の荷物を運ぶことができます。この点は鉄道輸送の最大の利点です。
- ②「環境への影響が少ない」という点に言及しているか。(1点)
⇒貨物輸送に限らず、一般に鉄道は温室効果ガスの排出量が少なく、環境に優しい移動手段とされています。
- ③「輸送費が安い」という点に言及しているか。(1点)
⇒上記①の「大量に輸送することができる」とことに関連しますが、大量に輸送すれば、荷物一つあたりにかかる費用(燃料や人件費など)は安くなります。大量に輸送できる鉄道輸送は自動車輸送に比べて費用の面で有利とすることができます。もちろん、少量の荷物を短距離で運ぶ場合は自動車輸送の方が便利ですが、この問題ではあくまで鉄道輸送・自動車輸送のいずれについても多くの荷物を長距離にわたって運搬することを前提としています。
- ④「渋滞がなく時間に正確である」という点に言及しているか。(1点)
⇒鉄道は専用の軌道の上を走り、決められたダイヤグラムに従って運行するため、基本的に渋滞というものがありません。かかる時間はともかくとして、自動車に比べて時間(特に到着時間)に正確であると言えます。

【部分点を与えた解答例】

エネルギー効率が良い。／ 事故が少なく安全である。(各1点)

⇒一般に電気を動力とする鉄道はエネルギー効率が良く、これは上記②にある環境に優しい点と、③にある輸送費が安い点とも関連します。また、上記④と関連して、渋滞がなく時間に正確な鉄道は、事故に遭うリスクも低くなります。ですのいずれの解答も1点分として正解としました。

【得点を与えなかった解答例】

所要時間が短い。／ 高速で移動できる。／ 早く到着することができる。(0点)

⇒これらの解答は、一見正しいようで事実をとらえていません。というのも、例えば東京から大阪までの貨物列車の時刻表を見てみると、途中で複数の貨物ターミナルに立ち寄って荷物の積み替えや貨車の切り離しを行うのが一般的であるほか、特に昼間の場合、多くの区間で線路を共用する旅客鉄道を優先するため、待機する時間も長くなります。実際、渋滞等を考慮しても、自動車輸送は鉄道輸送とほとんど所要時間が同じであるか、むしろ鉄道輸送よりも時間がかからないのが一般的です。また、機関車が大量の貨車をけん引することから高速化が難しい一方、自動車輸送の大動脈である新東名高速道路は一部区間の制限速度が時速120kmに設定されており、瞬間的な速度の面で見ても自動車の方が鉄道よりも速いのが現実です。鉄道は定時性に優れますが、それは余裕を持った運行計画がなされているためなのです。